

授業科目	対象別公衆衛生看護活動論 I				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保健師		ナンバリング	NU21704J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2 DP4-2			
担当教員	一期崎 直美、鹿毛 美香							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>対象別公衆衛生看護活動論 I では、公衆衛生看護活動領域のうち学校保健および産業保健活動について解説する。</p> <p>・学校保健は、児童生徒の健康の保持増進をはかること、集団活動に必要な健康や安全を促進させることを目指した活動である。その概要を学び、その活動と関連の深い学校安全および食育と特別支援教育の概要を学ぶ。また、児童生徒の健康面の状況について学ぶ。実務経験者としては、学校保健活動における養護教諭の活動を中心に解説する。</p> <p>・産業保健は、働く人々の健康と労働の調和を図り、働く人々の安全と健康の維持増進を目指した組織的な活動である。その概要を学び、社会の変遷の中で顕在化する健康課題とその対策について解説する。加えて、実務経験者として、産業保健活動における看護職の活動について実例を挙げながら授業を進める。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校保健および産業保健の意義および制度とその概要について説明できる。(DP1-2、DP2-1)</li> <li>2. 各活動領域を取り巻く環境等について説明できる。(DP1-2、DP2-1) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学校安全や食育および特別支援教育(障害児のための教育)の概要について説明できる。</li> <li>2) 高齢者や障害者、非正規労働者などの雇用対策の概要について説明できる。</li> </ol> </li> <li>3. 現在の各活動領域が抱える現状と課題について説明できる。(DP1-2、DP2-1、DP3-2)</li> <li>4. 学校保健および産業保健活動を推進する各職の役割機能について説明したり実践できる。(DP1-2、DP2-1、DP3-2、DP4-2)</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	65	0	0	15	20	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	50			5	5		60	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	15			5	10		30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)					5		5	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)				5			5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルに加え、これからの日本社会における公衆衛生看護活動(学校保健・産業保健)についての展望を検討し、説明できる。				学生が達成すべき行動目標の1. ～4. まで達成できる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:学校保健の概要 食育・特別支援教育(一期崎) 学校保健の概要を知り、学校保健に関連する学校給食・食育や特別支援教育の概要を学ぶ。	講義 演習	予習:Classroomで講義内容を確認し準備する 復習:講義を振り返る	60
2	テーマ:学校保健行政の動向(一期崎) 学校保健の保健管理や保健教育について学ぶ。	講義 演習	予習:Classroomで講義内容を確認し準備する 復習:講義を振り返る	60
3	テーマ 学齢期の健康状況(一期崎) 学校における児童生徒の健康面に関する状況や課題について学ぶ。	講義 演習	予習:Classroomで講義内容を確認し準備する 復習:講義を振り返る	60
4	テーマ:産業保健の基本(鹿毛) 産業保健の意義及び制度、産業保健の領域と構造とその概要について学ぶ	講義 演習	予習:Classroomで講義内容を確認し準備する 復習:講義を振り返る	60
5	テーマ:産業保健スタッフの職務・役割(鹿毛) 産業保健スタッフの活動の実際を通して、産業保健スタッフの職務や役割を学ぶ	講義 演習	予習:Classroomで講義内容を確認し準備する 復習:講義を振り返る	60
6	テーマ:産業保健に関連する制度など(鹿毛) 高齢者や障害者、非正規労働者などの雇用対策などについて学ぶ	講義 演習	予習:Classroomで講義内容を確認し準備する 復習:講義を振り返る	60
7	テーマ:産業保健における健康課題とその対策(鹿毛) 働く人々を取り巻く環境の変化と健康課題およびその対策を学ぶ	講義 演習	予習:Classroomで講義内容を確認し準備する 復習:講義を振り返る	60
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	公衆衛生看護学概論で履修した知識理解を必要とします。			
テキスト	『標準保健師講座 対象別公衆衛生看護活動3』, 医学書院(最新版) 『国民衛生の動向』, 厚生労働統計協会			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に提示します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	子どもから働く人々までの健康づくりに携わるすべての人々に理解してほしい内容です。予習や復習で理解を深めるだけでなく、演習は、積極的に臨んでください。( * 遠隔授業に変更した場合は、シラバスの内容が変わることあります。その際は、学生に提示します)			
達成度評価に関するコメント	学校保健・産業保健は、定期試験で評価します。また、事前学習、授業時の演習、事後学習など成果物で評価します。授業に関するマナーやルール(提出物の状況など)についても評価します。			

